

SA-A1 無線が繋がらない場合の確認フロー

リオン株式会社
2015年7月15日
第1版

無線が繋がらない場合、以下のフローにてご確認ください。

ユーザー側での確認事項

■基本事項の確認

- SA-A1WDの電源が入っていますか?
- SA-A1の無線設定がONになっていますか?
- SA-A1のステータスバーでのWLANアイコンの電波強度の表示が2段階以上ですか?
1段階の場合は、以下のフローで改善を試みてください。

■設置環境の確認

- SA-A1をSA-A1WDに向けてください。人体も電波を遮蔽する要因になりえますので、SA-A1を手に持って測定する場合には、可能な限りSA-A1WD側に向けてください。
- SA-A1WDのアンテナをSA-A1に向けてください。
- 遮蔽物がない見通しで50m以内ですか?
可能な限り遮蔽物(特に電波を遮蔽しやすい金属、水分等)を挟まないようにしてください。
- SA-A1WDを地面から離してください。
別売品の縦置スタンドによって電波が通じやすくなることもあります。

■特殊な環境下での測定について

- 金属性のものが多くある環境ですか?
電波の反射・回折によって悪影響が出ている可能性があります。設置位置を調整してください。
- 水分のような吸収する材質のものが近くにありますか?(雨天、水の上、濡れた地面等)
可能な限り、影響を避けるように設置してください。

■他の無線LAN、電子レンジ等の電磁波との混信について

- なるべく、無線LANアクセスポイント近くには設置しないようにしてください。
- SA-A1以外の無線アクセスポイントで使用中のチャンネルと重複しないようなチャンネルに設定するようにしてください。SA-A1側のチャンネルはSA-A1の「SA-A1設定」から変更が可能です。
- 混信している周波数帯域が2.4 GHzの場合、5 GHzに切り替えることも混信を回避できます。
ただし、日本国内においては5 GHz(W52)は電波法上、屋外で使用できませんのでご注意ください。
2.4 GHz / 5 GHzの切り替えはSA-A1の「SA-A1設定」から可能です。

上記、フローでも改善しない場合はその他の要因も考えられますので弊社、リオンサービスセンターもしくは販売店までお問い合わせください。